

# 貨物運送事業者の安全運行のための WEBセミナー 3

1

制作・配信 / Think シンク出版株式会社

シンク出版は事業用自動車を中心に、WEBサイトと出版物をメインに安全情報を提供している出版社です。

2023年7月から、動画でも安全情報の提供を行うことになりましたので、ぜひご視聴ください。

今回も、前回に引き続き、事業用自動車のコンサルティングを手掛けるLps安全企画の町田慶太様に、自動車運送事業の管理者向けに「業務の基本1K マニュアルの策定手法」をテーマに講演をお願いしましたので、ぜひご覧ください。

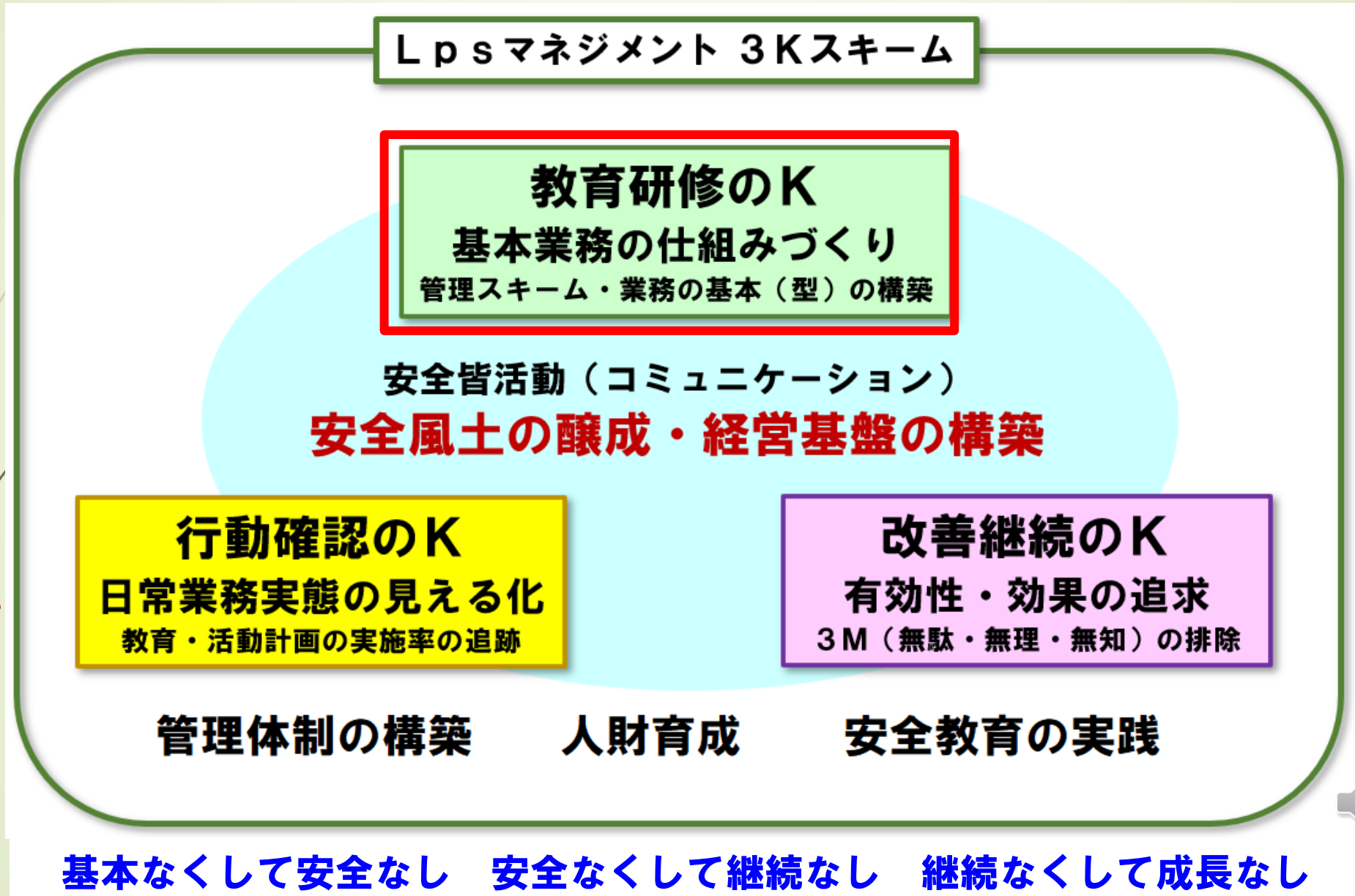


# 業務の基本 1 K マニュアルの策定手法

～継続できる安全活動手法～

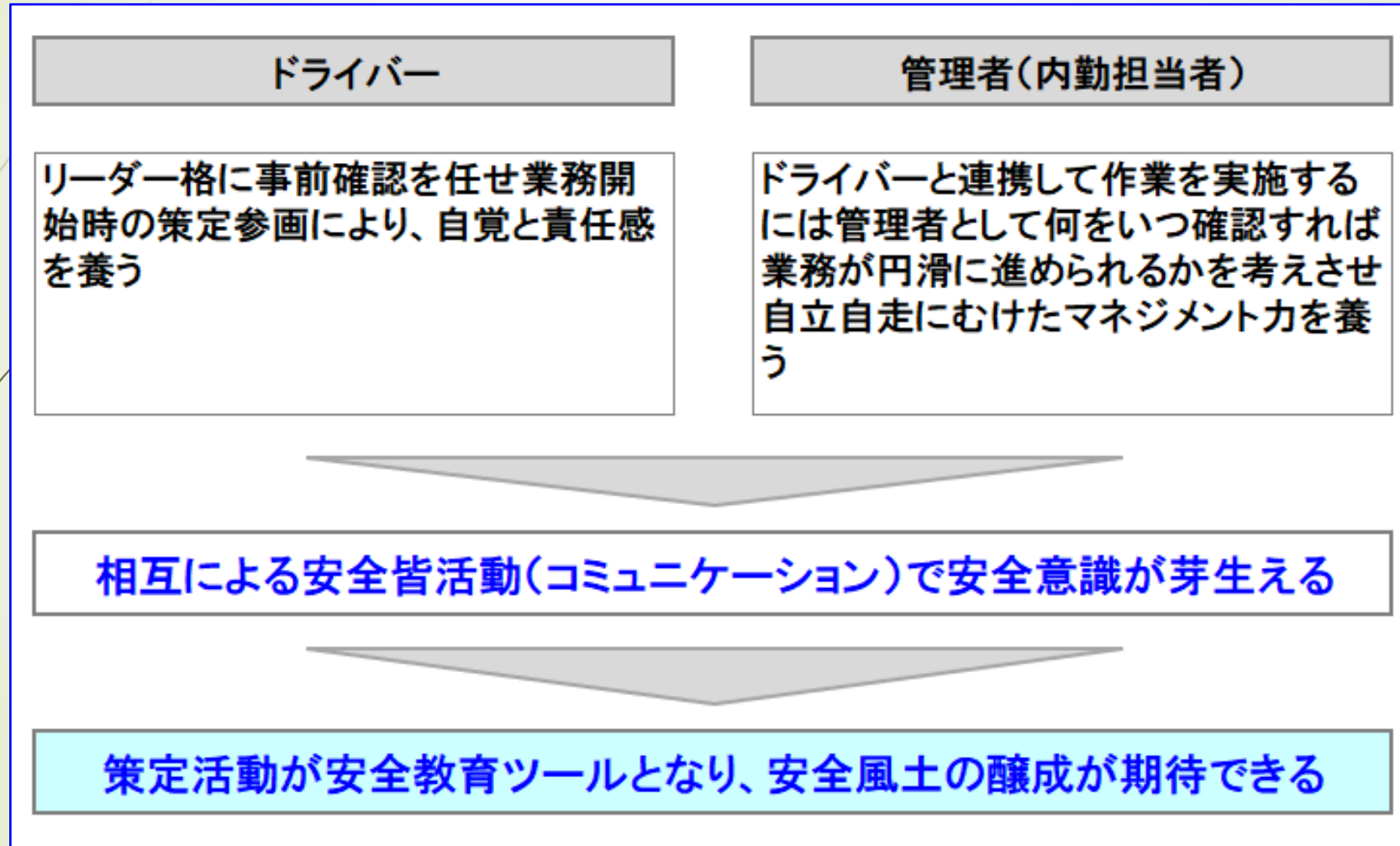


# 前回の振り返り 未然防止に必要な安全管理スキーム



# マニュアル策定のねらい

当事者間でマニュアルを策定するのが望ましいです



# マニュアルがある時・ない時

「マニュアルがないと人は動けない」が今のご時世です

マニュアルがない時

俗人的な業務になり不安が残る

間違いに気づかないまま業務が続く

人が変わるたびに実業務が変わる

対策ばかりが散らかり対応不能になる

マニュアルがある時

業務の基本を実施できる機能がある

業務の基本と自身との比較ができる

業務の活動が継続できる仕組みがある

事故発生時に基本の振り返りができる



# マニュアルの策定領域と効果的な活用例

皆さんの会社には、業務全体を俯瞰できる仕組みはあるでしょうか？

ドライバー・フォークリフトマンのマニュアル策定が全てではありません

現場作業員を管理する内勤者のマニュアル策定も重要です

内勤管理者の  
運用マニュアル

+

ドライバーの  
作業マニュアル

+

フォークリフトマンの  
作業マニュアル

マネージャー・経営層がマニュアル通りの運用かを確認することで  
各事業所における業務実態の状況が見え管理(評価)が可能



# マニュアル策定の目的

マニュアルは会社が定めた業務の基本であり  
誰もが決められた業務を遂行するための資本です

現地現場に運用に活用できるマニュアル策定が基本です

## 活用できるマニュアル

事故を減らすための具体的な作業方法・手順が定められ、かつ法令の準拠内容が確認できる

作業中の手順等の行動が見て判断できる内容が明記されている  
○ 実施後に指差呼称で確認

## 活用できないマニュアル

マニュアル策定が目的となり、法令ばかりが並び現地現場で活用できない

抽象的な内容表現が多く作業状況が見えない  
× 安全を意識して作業する





# マニュアルの策定ポイント

## ■活用できるマニュアルを策定する

- ・作業員・管理者双方の行動・手順を定め、業務全体が俯瞰できる内容に移行する
- ・経営層・マネージャーが業務運用状況の指標として活用し、運用状況の見える化で活動評価として活用できる

## ■現地現物に必要な内容に絞る（完成度50%でスタート）

- ・法令ありきのマニュアルから、事故再発防止に必要な具体的な行動や手順を明確に示し、誰がみても行動・手順が判断できる内容にする
- ・事故やトラブル発生時の対策をたてる前に、業務の基本を再確認するツールとして活用する(基本に戻る)
- ・現地現物の作業に都度合致している状態かを確認し、不足する内容は都度更新する仕組みを構築し維持継続できる仕組みにする



# 管理者向けのマニュアル策定

管理者(内勤者)の異動に伴い、業務の機能不全防止のため  
管理者の行動・手順を定めて、持続可能な活動に活用しましょう

管理者が変わる時の業務の引継ぎ時間ロスを低減できます  
同時に、作業員間での作業指示や業務取得確認が容易にできます

輸送例:新規業務受注時に、配車担当者がドライバーに配車する場合の行動手順



ドライバーに業務開始時に、通行路・貨物養生方法・入場時手順等の周知

倉庫例:貨物の保管開始に伴う作業員への指導手順



荷姿に伴う段積み制限・ロット管理方法・FL使用時の作業手順等の周知



# マニュアルイメージ

2023年9月15日制定

管理者

ドライバーの運行管理(点呼時手順)

## 1. 点呼前に準備すること

- ① 前日に配車を確定し、配車ドライバーが初めての運行の場合は運行経路を指導できるよう経路表を準備する
- ② 前日の運行記録(日報デジタコ等)で速度超過等のアラームがないか確認し、点呼時の注意指示の準備を行う
- ③ 配車に伴う、運行注意事項並びに安全注意事項を点呼簿に記載する



販売教材等を活用する

## 2. 点呼時に確認すること

- ① 点呼簿での点呼者が実施する準備ができていないか？  
・点呼前準備事項(上記1の確認)
- ② 点呼時にドライバーからの報告事項を確認しているか？  
・アルコール検知確認  
・日常点検記録の確認  
・点呼簿確認事項の確認
- ③ ドライバーが点呼時の実施事項の報告を受ける  
・アルコール検知記録結果  
・日常点検記録結果
- ④ ドライバーに指示する  
・行先の周知と運行上の注意事項  
・運行に伴う注意事項(前日運行結果に基づく注意事項)  
・納品先での手順等の指示事項(新規業務配車の場合)  
・安全に関する事項(休憩場所等)
- ⑤ 上記内容を点呼簿に記載する



## ■関係法令

【作業指示】 労働安全衛生法第20条 労働者の危険防止並びに健康障害防止措置

【運行管理】 貨物自動車運送事業法第15・17条 輸送の安全

貨物自動車運送事業運輸安全規則第7条 点呼の実施

項目を管理者・ドライバー見開きだと全体が俯瞰しやすい

制定 2023年11月1日

ドライバー

点呼時・出発時の実施事項

## 1. 点呼前に実施すること

- ① 決められた作業服・安全具(ヘルメット・安全靴・安全ベスト)着用し点呼を受けてください
- ② 車両の日常点検を実施し、日常点検表の点検状況を記載の上、点呼者に報告できるよう準備してください
- ③ アルコール検知器で検知確認を行い、検知記録に氏名を記入して点呼時に提出してください



## 2. 点呼時に確認すること

- ④ 点呼者にアルコール検知記録を提出し、就労に必要な健康状態を虚偽なく報告してください
- ⑤ 点呼者に日常点検状況を記録簿で報告した上で、点呼者から行先・運行経路・安全注意事項等の業務指示を受けてください



数値が出た場合(ゼロ以外)は点呼者に申し出てください

項目	確認
アルコール検知	
日常点検	
運行記録	

異常がある場合は点検表にシを記入して、点呼者に報告して異常部位を確認させてください

## 3. 出発時に確認すること

- ⑥ 乗車前に車両一回りで、確認願います  
・車両底に障害物がないか  
・車両周辺に障害物がないか  
・ウィングの開閉鍵が施錠確認
- ⑦ 座席位置は適正か、またミラーの視界は確保できているか確認してください  
またキャビン内は運転に必要なものは整理して手の届かない場所に保管してください



# 新規業務取得時のマニュアル制定手法

業務に必要な項目の内容(荷主・法令・社内ルール)で確認し必要な内容を策定

荷主	シンク物流サービス株式会社		発注者	株式会社天満化学工業	
業務名	化学薬品(液体)の大阪～三重間の輸送業務		内容	運搬のみ・荷役あり・梱包あり・一時保管あり・	
開始予定	2023年12月1日開始	車両	8台/月	条件	社内通り・元請:月末の翌月末払い(振込)

区分	限定車両	作業資格	ドライバー	養生関係	通行指定	入場手続き	貨物保険	他
発注者・荷主	あり	あり	あり	なし	あり	あり	500百万/台	あり(事前登録乗務員)
法令関係	—	玉掛講習修了者	ヘルメット・安全靴	—	—	—	—	
社内ルール	—	ワイヤー管理	—	—	—	—	—	
新規策定	4tユニック車	—	事前登録	—	通行路指定	入場時手順	加入確認	

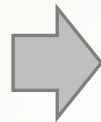
区分	今回業務でのマニュアル策定事項
限定車両	4tユニック限定・玉掛け作業あり
作業資格	玉掛け作業講習修了者限定(自社内5名在籍→5名限定業務)・ワイヤー色分け管理実施
ドライバー	安全具:ヘルメット・安全靴必須、4tユニック限定・玉掛け作業があることから、自社ドライバー運行でスタート 備車可
養生関係	カートン貨物のため貨物角あて養生とストレッチフィルム巻きを実施
通行指定	近隣小学校との協定で入場センター周辺道路の時間指定あり 県道130号線7:00-8:30・14:30-16:00通行不可
入場手続き	アルコール検知実施後に車番登録あり
貨物保険	500百万円/台の加入用(今回用車両:5台の100百万円上乗せ手続き要)
他	元請が実施する登録乗務員の教育受講必須(液体タンクの荷役・運搬時の養生教育)



# マニュアル策定後の運用

当事者間で策定するマニュアルは、完成度50%でもその後の修正で100%に近づけるには、常に実作業と策定に乖離確認が重要です

内容が実業務に合致しているか確認する



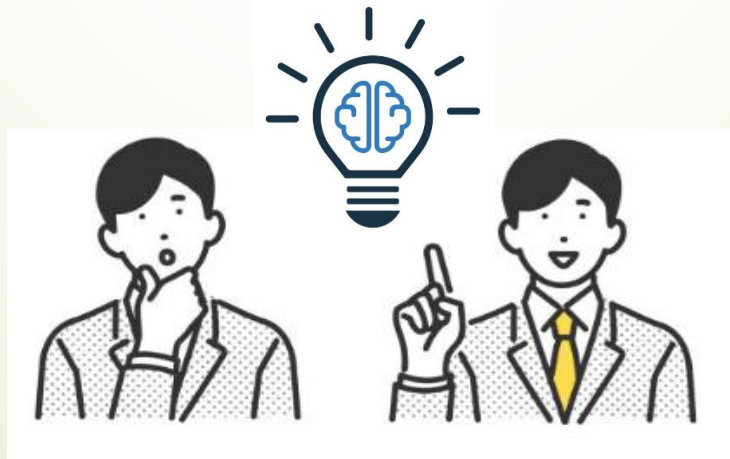
必要に応じて修正・追記を実施する



修正・追記で管理者の実施手順の変更等も修正・追記する

マニュアルは常に、現地現物に沿った内容でないと活用できません

現地現物を知るドライバー等の意見を確認して、修正・追記しましょう



L p s マネジメント 3 K スキーム

教育研修のK

基本業務の仕組みづくり  
管理スキーム・業務の基本（型）の構築

安全皆活動（コミュニケーション）  
**安全風土の醸成・経営基盤の構築**

行動確認のK

日常業務実態の見える化  
教育・活動計画の実施率の追跡

改善継続のK

有効性・効果の追求  
3M（無駄・無理・無知）の排除

管理体制の構築

人財育成

安全教育の実践

基本なくして安全なし 安全なくして継続なし 継続なくして成長なし

次回は、行動確認2K：日常業務実態の見える化をご説明します

## 本セミナー受講特典

下記事務局に「アンケート入手希望」のメール送信



事務局に「アンケート送付」



Lps安全企画から「受講修了証」をPDFで送付します

15

**【事務局】 シンク出版株式会社**  
メール [contact@think-sp.com](mailto:contact@think-sp.com)  
電話番号 06-6809-1989



次回の安全管理者セミナー④

# 「行動確認 2 K 日常業務実態の見える化」

16

お楽しみに！